

議決議案ダイジェスト

条例関係

- 山田町復興まちづくり基金条例
東日本大震災からの復旧および復興の財源に充てるための基金を設置しました。
- 山田町町税条例の一部を改正する条例
地方税法等の一部改正に伴い関係条項の整備を行うとともに、軽自動車税の納期を変更しました。
- 山田町都市公園条例の一部を改正する条例
仮設店舗等を都市公園内へ建設できるように関係条項を改めました。

予算関係

- 一般会計補正予算（第4号）
85億1,844万円を追加。総額319億9,267万円。
- 国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）
3億4,786万円を追加。総額30億1,548万円。
- 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
111万円を追加。総額1億5,056万円。
- 介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）
2,226万円を追加。総額15億9,623万円。
- 漁業集落排水処理事業特別会計補正予算（第2号）
2億9,629万円を追加。総額5億1,572万円
- 公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
2億703万円を追加。総額7億5,045万円。
- 平成22年度決算
一般会計と特別会計の決算が認定されました。

人事案件

- 教育委員の任命につき同意を求めることについて
教育委員に後藤由美子さん（44）＝長崎＝を任命することに同意しました。
- 監査委員の選任につき同意を求めることについて
議会選出の監査委員に稲川勝憲さん（68）＝織笠＝を選任することに同意しました。

一般議案

- 平成22年度山田町財政健全化判断比率についての報告
- 平成22年度公営企業会計における資金不足比率についての報告
実質公債費比率や将来負担比率などが報告されました。
- 山田町防災行政無線（固定系）施設改修工事の請負契約の締結に関する議決
・工事請負金額 1億8,375万円
- 山田町公共下水道前須賀中継ポンプ場の災害復旧事業に係る建設工事委託に関する協定の締結に関する議決
・工事委託金額 1億9,500万円。

請願

- 「灯油高騰への特別対応」と「福祉灯油」を求める請願
請願者 ・岩手県生活協同組合連合会
会長理事 加藤 義正
・岩手県消費者団体連絡協議会
会長 高橋 克公
・いわて生活協同組合
理事長 飯塚 明彦
紹介者 木村 洋子議員
審議の結果 原案採択（議員発議で意見書提出）

鯨館の展示室の復旧工事内容は

問 鯨と海の科学館常設展示室等仮復旧工事費でどういう工事をするのか。また急いで手当てする必要があるのか。

生涯学習課 現在残っている

けてはどうか。
建設課 今後、家と家との境界を確認しなければならぬが、国土調査事業で行うか違う手法の制度で行うか検討中である。

鯨の骨格標本の原形を守るために、科学館の空調設備などを整備する工事を行う。
町長 骨格標本の湿気がとれずカビが発生し、放置すれば原形そのものが維持できないとの専門家の助言があったので早急に工事を行う。現在科学館にある大きな標本は調査の結果、大変貴重な骨格部分も発見されたという話もあり、日本の大きな財産になり得る価値を持っているという判断で予算措置した。

被災農家に対しての支援策について

問 被災農家経営再開支援事業費補助金と東日本大震災農業生産対策交付金の内容は。
農林課 被災農家経営再開支援事業とは、農地を被災した農家が再開に向けての組織をつくった場合、共同で行う復旧作業の取り組みに対して1反歩当たり3万5000円の支援金を支払うものである。東日本大震

中山間支払交付金なぜ減になったか

問 県補助金の中山間地域等直接支払交付金はなぜ減額になったのか。
農林課 中山間地域等直接支払交付金とは急・緩傾斜の農地で行う組織的的事业に対して交付金を支払い、そ

町の公共物撤去なぜ始まらない

問 町管理の公共物はなぜ撤去しないのか。
建設課 国からの補助がなかった。最近になって国の補助対象になったので順次撤去する。

災農業生産対策交付金とは、施設等を被災した農家が共同利用する施設や機械等の整備に対する交付金である。

の分を県から交付されるものだが、本年度、震災により予定していた地区で準備ができず交付金が減額となった。